

2004年9月28日

各位

株式会社UFJホールディングス
(コード番号 8307)
株式会社UFJ銀行
UFJ信託銀行株式会社

グループ内の事業・資本再編について

UFJグループは、事業効率の向上と信用リスク管理の効率化を図るとともに、グループ内資本をより有効活用し、株式会社UFJ銀行(以下「UFJ銀行」)の自己資本比率の一層の充実を早期に実現することを目的として、UFJ銀行、UFJ信託銀行株式会社(以下「UFJ信託」)間にて、以下のとおり事業・資本の再編を行う方針を、本日決定いたしました。

1. 大口貸出先の管理一元化

UFJグループは、2004年度下期中の極力早い時期に、UFJ信託にて行うUFJグループの大口貸出先の一部に関する業務をUFJ銀行に移管・統合します。

UFJグループの大口貸出先の再生・処理スキームの策定、フォロー、その他業務をUFJ銀行に一元化することで、グループ全体として事業効率の向上及び信用リスク管理の効率化を図ってまいります。

具体的スキームについては、関係当局の許認可等を前提に会社分割による方法を軸に現在検討中であり、詳細決まり次第改めてお知らせいたします。

なお、2005年7月実施を予定しているUFJ銀行とUFJ信託の法人向け貸出業務の統合については、株式会社三菱東京フィナンシャル・グループとの経営統合の中で検討してまいります。

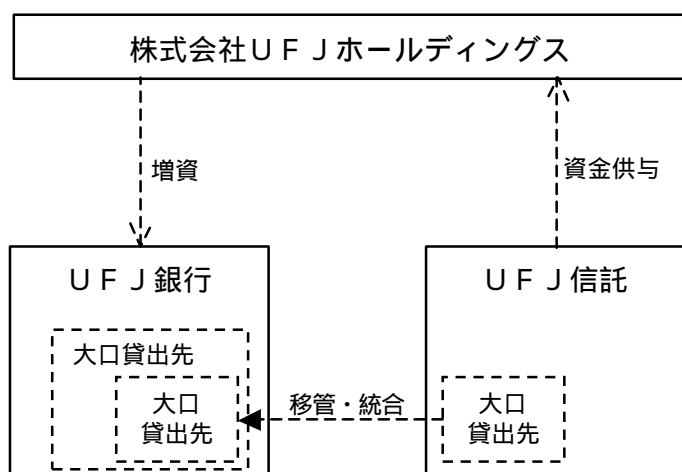
2. グループ内資本の再配分

上記1.の大口貸出先のUFJ銀行への一元化を踏まえるとともに、UFJ銀行の自己資本比率の一層の充実を早期に実現することを目的として、9月末までにUFJ信託からUFJ銀行へ資本の再配分を行います。

具体的には、UFJ銀行が発行する総額800億円の無議決権優先株式を株式会社UFJホールディングス(以下「UFJH」)が引受けることとします。これによりUFJ銀行の自己資本比率は単体・連結でそれぞれ0.5%程度・0.4%程度引き上げられ、8%台半ば～後半となる見込であり、国際基準行としてより充実した自己資本水準を確保するとともに、下期のUFJ信託からの貸出資産の移管に備えます。他方、UFJ信託の自己資本比率は本件に伴うUFJHへの資金供与により2%強低下し、8%程度となる見込みです。

なお、本件はグループ内での資本の再配分であるため、UFJH連結自己資本比率への影響はありません。

[スキーム図]



[UFJ銀行による新株発行の概要]

株式の名称・種類 : 第一回戻種優先株式（無議決権優先株式）
発行方法 : 株式会社UFJホールディングスに対し割当
発行価額 : 1株につき200円
発行新株式数 : 400,000,000株
発行価額の総額 : 800億円
資本組入額 : 1株につき100円
申込期日 : 2004年9月29日
払込期日 : 2004年9月29日

以 上